

NTT技術史料館かわら版

第二版

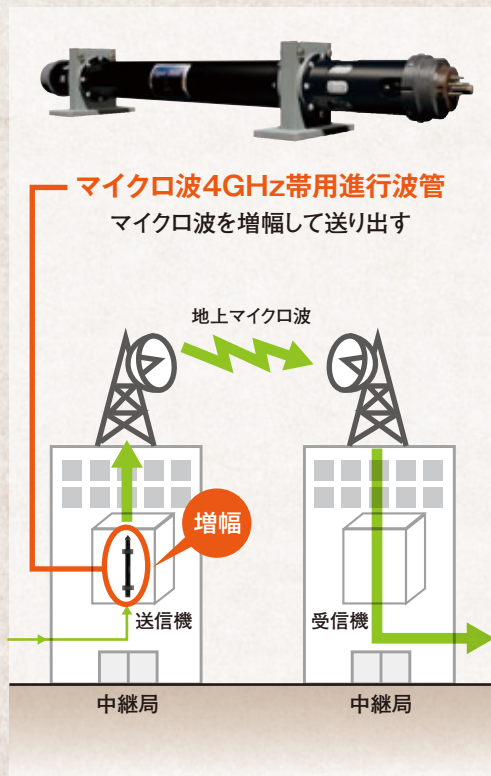
国立科学博物館の「未来技術遺産」に 新たな史料が登録!

平成二十三年九月、マイクロ波4GHz帯用進行波管(4W75A)が、日本の科学技術の発展を示す貴重な史料として、「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」に登録されました。

マイクロ波4GHz帯用進行波管 4W75A

マイクロ波4GHz帯用進行波管は、一九五一年に日本電信電話公社電気通信研究所で発明され、

一九五五年に実用化。周期永久磁石を使うことで、効率よく電子ビームを収束することが可能とな



進行波管とは?

一九五〇年頃、電話回線やTV中継の需要が高まり、より高い周波数の活用が急務となった。進行波管は、マイクロ波の増幅を行う装置で、各無線中継局に設置された。

り、従来のものに比べ、大幅に小型・軽量化されています。この周期磁界収束の技術は、以後、進行波管のほとんどすべてに採用され、日本及び世界のマイクロ波多重通信の発展を担いました。地上回線だけでなく、衛星回線、衛星放送、マイクロ波測定装置などで利用され、特に衛星関係では、この技術なしでは衛星搭載が不可能であったとも言われています。

毎週木曜日午後、一般公開(要予約)実施中!

三階に技術試験衛星 ETS-VI 着陸!?

大人気!一階と三階をつなぐパラボラ通信体験コーナー!

平成二十二年十月に
登録された史料

内航船舶無線電話装置

NS-1 号 JAA-333



一九五九年に日本船舶通信機によってサービス開始。移動体通信の中で最も古い歴史をもつ。

大阪万博の携帯電話

(ワイヤレステレホン)



『未来の電話機』として一九七〇年大阪万博にて展示され話題に。国内外へNTTの技術力を強くアピールした。

自動車電話

TZ803A



一九七九年自動車電話のサービス開始。一九八八年に発表されたTZ803Aは、自動車電話を外に連出しシヨルターホンとしても使用することが可能に。

まだまだある

情報処理技術遺産
2009年3月 情報処理学会認定



パラメトロン計算機
MUSASINO-1B
一九五四年、並列演算方式による実用計算機の試作に着手。様々な障害を乗り越え試行錯誤ののちMUSASINO-1Bを完成させた。戦後の日本のコンピュータ開発の原点!

粋なプレゼント

一般公開日等にご来館いただき、アンケートにお答えいただいた方にオリジナルパークラフトをプレゼント!



ぜひ実物を見に、お立ち寄りください